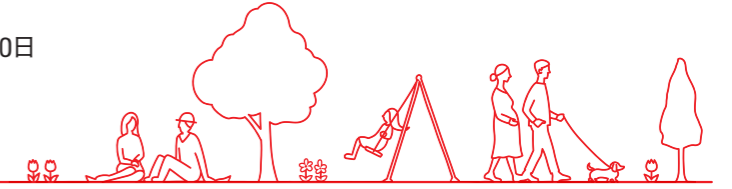


# letter

vol.17

第78期 中間株主通信 2025年11月1日 ▶ 2026年4月30日



## 株主の皆さまへ

当中間連結会計期間の業績は、前年同期比で増収・増益となりました。国内農業事業は、自社開発剤の水稲用除草剤エフィーダ®や水稲用殺菌剤ディザルタ®がけん引し、好調に推移しました。海外農業事業では、当社の基幹剤である畑作用除草剤アクシーブ®は、オーストラリア向け出荷減となりましたが、米国向けはジェネリック品参入を見据えた販促支援を強化したことで出荷が前倒しとなり、海外農業事業全体としては好調に推移しました。

化成品事業では、生成AIサーバー向け電子材料分野の需要が好調であったことから、ビスマレイミド類の出荷が増加しました。以上の結果、当中間期は売上高1,029億円（前年同期比7%増）、営業利益104億円（前年同期比10%増）となりました。

通期の連結業績につきましては、中東情勢の不安定化に伴う原油・ナフサ製品の供給不足や価格高騰の可能性などにより見通しが不透明な状況であることから、2025年12月に公表しました業績予想を据え置いております。

農業業界を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いておりますが、中長期的には世界人口の増加に伴う食料需要の増加、国内においては農業人口減少による生産性の向上・省力化に対するニーズの増加が見込まれています。近年では地球温暖化に伴い、作物の品質や収量に悪影響を及ぼす高温障害や、害虫の大量発生への対策など新たな需要も増加しています。このような事業環境の中、当社では研究開発力の強化や既存剤の販売最大化、新たな需要への対応に努めてまいります。

新剤創製の要である研究開発力の強化に向けては、静岡県菊川市にある生物科学研究所の整備を進めており、2027年に新研究棟の完成を予定しています。また今期から、当社初となるバイオスティミュラントとして、農作物が本来持つ力を引き出し、高温障害を緩和するなつづよし®の販売を開始しました。（詳細は後掲）

化成品分野では、生成AIやクラウドサービスの急激な拡大により、耐熱性や強靱性などに優れた高性能な電子材料用の高機能性樹脂の需要が増加しています。この高機能性樹脂の原料となるビスマレイミド類や、半導体などのエッチング工程に使用される当社製品の高純度COSガスは中長期的な需要増加が見込まれており、今後の成長が期待できます。

当社は、「人と自然が調和する豊かな社会を未来の世代に届けたい」という想いのもと事業活動を続けてまいりました。引き続き、社会課題の解決に資する製品の開発、販売を通じて、企業価値の向上に努めてまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
横山 優

## 横山社長に聞く Q&A

Q 中東情勢の影響は？

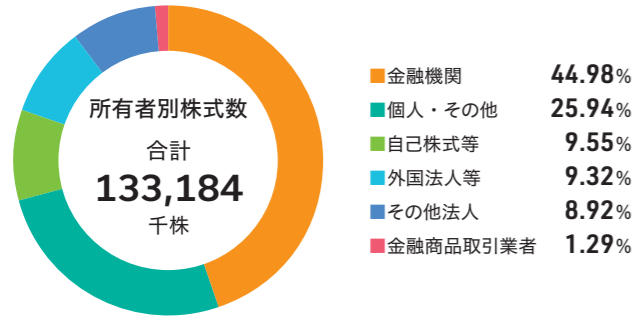
A 当社の農業や化成品の原材料は石油由来のものが多く、事業に対する影響を懸念しております。また、生産および物流に係るコストが増加するリスクがあると考えております。足元では一定の在庫を保有しているため影響は軽微ではありますが、流通の混乱が長期化して原材料調達に支障が生じた場合には、製品の生産調整など直接的な影響も想定されます。事業環境の変化を注視しつつ、迅速な対応を行うことで製品の安定供給を維持し、生産および販売に係るコスト低減にも取り組んでまいります。

## 株式情報 / 会社情報 (2026年4月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株  
発行済株式の総数 133,184,612株  
(自己株式 12,713,743株を含む)  
株主数 63,047名

### 株式分布状況



### 会社概要

会社名 クミアイ化学工業株式会社  
設立年月日 1949年6月20日  
資本金 4,534百万円  
事業内容 殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農業の製造・販売  
有機中間体・アミン硬化剤などの化成品の製造・販売  
従業員数 2,153名（連結）（2025年10月31日）  
本社所在地 〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

### 新規ページ

## 「個人投資家の皆さまへ」開設のお知らせ

この度、当社ホームページ内に、個人投資家の皆さま向けのページを新たに開設いたしました。当社へのご理解を深めていただけるよう、各種情報を分かりやすく掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://ir.kumiai-chem.co.jp/ja/investor.html>

## 株式メモ

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで  
定時株主総会 毎年1月中  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先（郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
基準日 定時株主総会については10月31日、その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日  
公告の方法 電子公告により行う公告掲載URL  
<https://www.kumiai-chem.co.jp/>  
(但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 株式に関する手続き等について

当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

#### お手続き窓口およびお問合せ先

- まだ受け取ってられない配当金の受領に関するお手続きおよびそのご照会
- 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会
- 株主さま宛郵便物の発送と返戻に関するご照会
- 特別口座に関する各お手続きおよびそのご照会

お手続き窓口	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店の窓口
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 各種お問合せ 0120-232-711
インターネットによるダウンロード	<a href="https://www.tr.mufj.jp/daikou/">https://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>

- お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 上記の各お手続きに関するご照会

お取引口座を開設されている証券会社等にてお手続きまたは、お問合せをお願いします。

### アンケートご返送のお願い /

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご記入いただき、ご返送くださいますよう、お願い申し上げます。

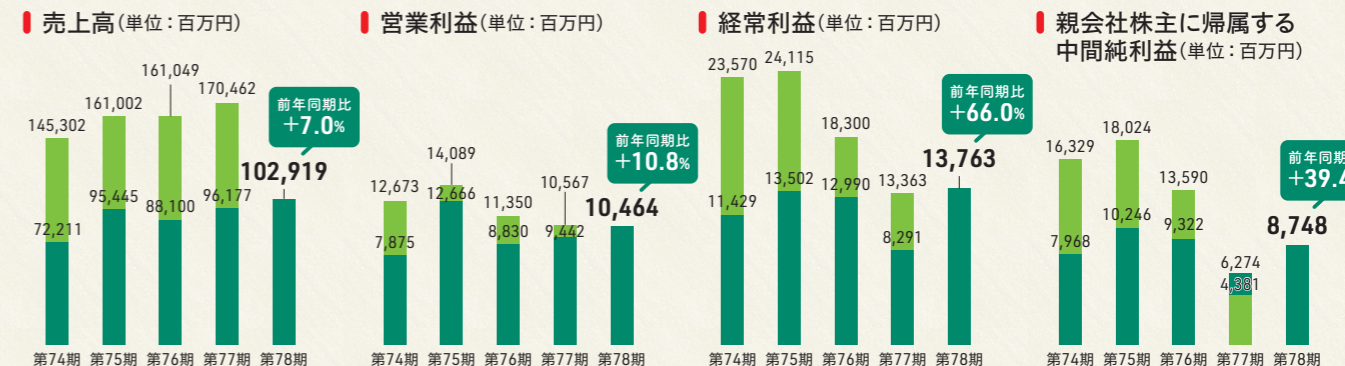
アンケートはがきご返送締め切り 2026年7月31日

IR情報を当社ホームページでご覧になれます。  
<https://ir.kumiai-chem.co.jp/ja/index.html>

クミアイ化学ir 検索



## 財務ハイライト



# BUSINESS TOPICS

## 《 TOPICS ① 》

### 「健康経営優良法人」認定取得

当社は中期経営計画に基づく人財戦略の一環として、「健康経営とワークライフバランスの推進」に取り組み、目指す姿を明確にしながら、健康経営<sup>®</sup>に関する体制づくりと基盤整備を進めてきました。

2024年4月には健康経営宣言を公表し、「病気治療および病気治療と仕事の両立支援」「メンタルヘルス対策」「生活習慣の改善」「禁煙対策」「ワークライフバランスの推進」の5項目を健康経営アクションプランに定め、さまざまな活動を展開しました。

その取り組みが評価され、2026年3月9日付で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。今後も継続した取り組みを推進し、従業員が心身ともに健康な状態で高いパフォーマンスを発揮できる環境作りに努めていきます。

※「健康経営<sup>®</sup>」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営の推進  
詳細はこちら



## 《 TOPICS ② 》

### バイエル クロップサイエンス株式会社が販売する一部製品の 当社による販売開始について

当社は2026年4月、バイエル クロップサイエンス株式会社と新たな販売契約を締結し、同社が全国農業協同組合連合会またはホクレン農業協同組合連合会に販売している12の農産品目の販売を当社へ移管することに合意しました。今後、両社で具体的な協議を進め、2026年12月1日より販売を開始する予定です。

本合意により、バイエル社とのパートナーシップ強化を図るとともに、当社の既存製品の補完による国内農業事業の強化と中長期的な事業成長につなげていきます。



## 《 TOPICS ③ 》

### 物流問題への対応

現在、物流業界ではトラック運転者の長時間労働や運転者不足などにより、輸送力の低下が懸念されています。当社ではその対応として、荷役時間の短縮化のためのパレット輸送や長距離の輸送手段としてモーダルシフトに取り組んでいます。

農産品をパレットに載せたままトラックに積み降ろしをするパレット輸送は、従来の作業に比べ、大幅な輸送作業時間の短縮と省力化につながる有効な手段です。当社は使用する木製パレットの一部を、当社所有の北海道福島町山林の間伐材から作製しており、森林保全によるCO<sub>2</sub>固定能力の維持など気候変動への取り組みも意識しています。

長距離の輸送を貨車輸送に切り替えるモーダルシフトは、トラックドライバー不足の解消に効果的であり、環境負荷の低減（鉄道はトラックに比べCO<sub>2</sub>排出量が約1/11）にもつながります。当社はこの貨車輸送の割合を増やし、国土交通省が設置した「エコレールマーク運営・審査委員会」からエコレールマーク認定（500km以上の陸上貨物輸送のうち15%以上を鉄道輸送する）も取得しています。

今後も当社製品を確実にお客様に届けられるよう、引き続き物流問題の解決に取り組んでいきます。

▶当社は、「ホワイト物流」推進運動にも賛同しています。

「ホワイト物流」  
推進運動について



パレット積み降ろしの様子

# Focus On バイオスティミュラント クミカ について知る

当社の活動は各事業所や従業員一人ひとりの取り組みによって支えられています。各事業所・製造拠点・事業の流れをご紹介するこのコーナー。今回は、クミアイ化学が新しく参入した分野である「バイオスティミュラント」についてご紹介します。

▶当社の事業における取り組みの詳細は「統合報告書2026」をご覧ください。

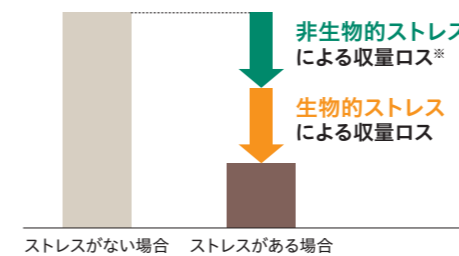


## 「バイオスティミュラント」とは

「バイオスティミュラント（BS）」とは、農作物または土壌に施用することで、農作物や土壌が本来持つ機能を補助する資材を指します。BS自体が直接的な養分を供給するのではなく、土壌中の栄養成分の吸収性や農作物による栄養成分の取り込み・利用効率を高めることで、乾燥・高温・塩害などの非生物学的ストレスに対する耐性を改善し、結果として農作物の品質や収量を向上させるものです。

（出典：農水省バイオスティミュラントの表示等に係るガイドライン）

収量イメージ



要因	対策	有効成分
高温、乾燥、低温、塩害、栄養不足 など	バイオスティミュラント 作物の機能を補助する	アミノ酸、植物や海藻の抽出物、腐植酸、微生物 など
雑草、病害、害虫	農薬 対象を防除する	化学物質、微生物 など

※非生物学的ストレスによる収量ロスは60%以上になるともいわれている

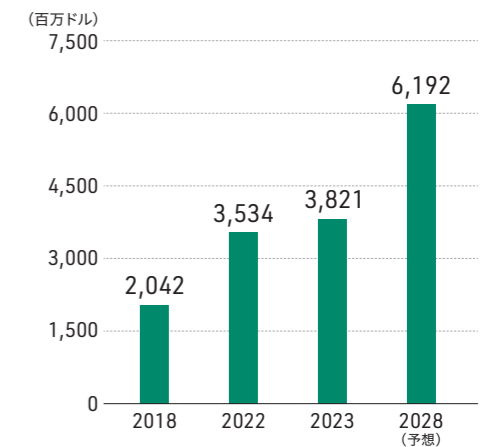
## BSによって期待できる効果

- 食料安定生産への貢献  
世界的な人口増加や異常気象が増える中で、安定した農業生産の維持に寄与する
- 生産効率の向上  
増収や栄養成分・品質の改善を通じ、生産効率を向上させる
- 環境負荷の低減  
持続可能な農業への貢献が期待される

## BSの世界市場予測

2028年には6,192百万ドル（約9,300億円）と予想されており、2023～2028年度年平均成長率10.1%とされています。日本国内でも注目を集めており、今後の市場拡大が予想される分野です。

BSの世界市場予測  
（出典：Agbioinvestor）



## 当社の取り組み

2026年春に当社初のBS資材「なつつよし<sup>®</sup>」を販売開始しました。本剤は近年の地球温暖化により問題となる作物の高温障害の改善を期待する資材です。農業分野で培った技術力、営業力を活かして、バイオスティミュラントの普及・開発にも積極的に取り組み、現場課題の解決と持続可能な食料生産に貢献してまいります。

なつつよし<sup>®</sup>  
紹介動画

